

高松市美術館コレクション展Ⅰ

戦後日本現代美術のあゆみ



JAPANESE

CONTEMPORARY ART 1950S - 2000S

from the collection of Takamatsu City Museum of Art I

2006

11/23
木・祝

12/10
日

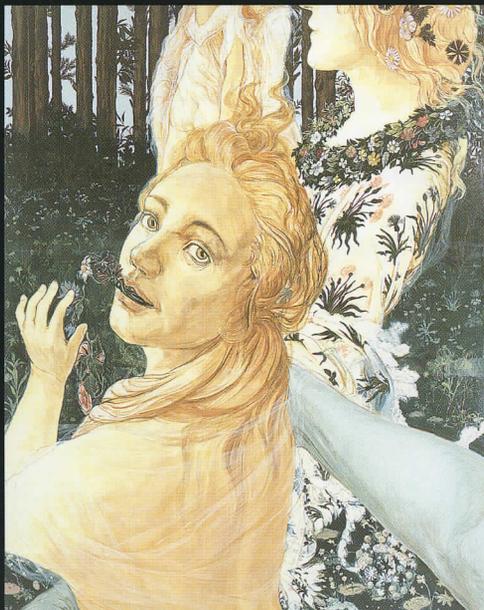
- 休館日＝月曜日
- 開館時間＝火～金曜日(9:30-19:00)
土・日曜日・祝日(9:30-17:00)
入室はいずれも閉館30分前まで
- 入場料
一般500円(400円)
高・大生300円(240円)
小・中生無料
- * ()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
前売りは美術館1階受付にて開催前日まで販売
- * 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)
- 身体障害者手帳・療育手帳または
精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
- *会期中の土曜日は高校生入場無料
- 主催＝高松市美術館

新・高松市誕生記念

Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711
ホームページ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html>



福田美蘭「ゼフィロスから見たクロリスとフローラと三女神」1992年



巖嘯「前へ!」1955年



上田 薫「なま玉子 J」1978年



丸山直文「leek I」1991年



タイガー立石「立石紘一のような」1964年



森村泰昌「肖像 (ヴァン・ゴッホ)」1985年



小林孝巨「Forest」2001年



三沢厚彦「Dog 2004-02」2004年

JAPANESE CONTEMPORARY ART 1950s-2000s

from the collection of Takamatsu City Museum of Art I

日本が1945年の終戦を迎えてから、今年で61年。社会や人々がさまざまに揺れ動いたこの間、美術の世界でもまた、じつに目まぐるしい展開がありました。日本の現代美術作家たちは、ときに仲間たちと徒党を組み、社会の動きに敏感に反応し、あるいは、海外の動向の影響を受けたりしながら、まだ見ぬ新しい表現を求めて、さまざまな方法で美の地平を切り拓いてきたのです。

このたびの高松市美術館コレクション展では、当館収蔵品のなかから約90作品により、戦後まもなくから現在にいたるまでの日本の現代美術の歩みを、10年ごとに6つの章に分けてご紹介します。

第1章「1950年代-新たなる出発」では、戦争の傷がまだいえないこの時期に新しい自由な表現を求めて活動した巖嘯、北代省三、吉原治良、岡本太郎らを紹介します。第2章「1960年代-反芸術とポップ・アート」では、雑多な日常的物質を組み合わせた「反芸術」と呼ばれる傾向と、アメリカ的消費文化を背景に生まれたポップ・アートの担い手として、荒川修作、篠原有司男、タイガー立石らを紹介します。第3章「1970年代-もの派とスーパー・リアリズム」では、物質をほとんど手を加えずそのまま提示し、芸術の根源を探求した「もの派」の作家として李禹煥、吉田克朗ら、また感情や手わざを排し写真のような冷徹な写実表現を行なう「スーパー・リアリズム」の作家として上田薫、嶋剛らを紹介します。第4章「1980年代-ポストもの派と絵画の復権」では、「もの派」の影響下に多様な表現を試みた一群の作家として山中信夫、堀浩哉ら、また70年代の禁欲的な傾向への反動として現れた、巨大な画面、大胆な筆致、原色の対比などを特徴とする絵画の担い手として辰野登恵子、丸山直文らを紹介します。第5章「1990年代-シミュレーションイズムとネオ・ポップ」では、名画に手を加えるなど既存の事物の流用、再構成を行なう作家として森村泰昌、福田美蘭ら、またサブカルチャーを巧みに取り入れ日本独自のポップ・アートを提示した村上隆、森万里子らを紹介します。そして最後に第6章「2000年代-カワイイ/カッコイイ」では、いまだ全体像が見えない現在のアートシーンのなかから、「カワイイ/カッコイイ」をキーワードに奈良美智、小林孝巨、中村哲也、町田久美ら気鋭の作家を紹介します。

戦後日本の美術シーンを彩った作家たちによる、美の実験の数々をお楽しみください。

ギャラリートーク (観覧券が必要)

- 当館学芸員によるギャラリートーク
11月25日(土)午後2時より2階展示室にて
- 美術館ボランティアcivi(シヴィ)によるギャラリートーク
会期中の日曜日・祝日 午前11時~午後2時~
1日2回 2階展示室にて

常設展のお知らせ

- 第4期常設展 10月28日(土)~1月8日(月・祝)
*特別展のチケットでご覧いただけます。

今後の催物のお知らせ

- 高松市美術館コレクション展Ⅱ 1月12日(金)~1月28日(日)
- ロートレック賛歌展 2月16日(金)~3月25日(日)



交通のご案内

JR 四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
ことでん-瓦町駅、片原町駅下車、徒歩10分
バス路線-(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐 車 場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)